

刊夕
炭鑛民俗誌
山口 彌一郎
然し斯の如く禁令の發せられた事に依つても如何に一部の島民が密掘を盛んにやつてゐたか、窺はれる。山主が小作人との間に交した契字中の一項に次の如き記述が見える。當時の狀態を知る一資料である。

花淋し
花の下あきき夢見し
とを悔ゆ
青踏めど心ののりの静まらず

講談
山ノ怪秘
丸山寛雄作
其の無明を笑ふ

久野電氣
工業所
平町紺屋町五三

専門耳鼻咽喉科
高柳耳鼻喉科醫院
醫學博士 高柳 博明

或女の手帳より
好問 鈴木欣子
己の無明を笑ふ

新妻久満男選
陽春雜詠 加藤純弘
起き伏の山脈の上に高々と富嶽を眺めて見ゆる

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

肺結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

春宵漫筆
五十二風 雄一之
事實、ある者は博覧強記所謂學問的常識の範圍を脱して研究及び發表の態度も千

山ノ怪秘
丸山寛雄作
其の無明を笑ふ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

新妻久満男選
陽春雜詠 加藤純弘
起き伏の山脈の上に高々と富嶽を眺めて見ゆる

山ノ怪秘
丸山寛雄作
其の無明を笑ふ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

春宵漫筆
五十二風 雄一之
事實、ある者は博覧強記所謂學問的常識の範圍を脱して研究及び發表の態度も千

山ノ怪秘
丸山寛雄作
其の無明を笑ふ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

春宵漫筆
五十二風 雄一之
事實、ある者は博覧強記所謂學問的常識の範圍を脱して研究及び發表の態度も千

山ノ怪秘
丸山寛雄作
其の無明を笑ふ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ



Advertisement for '結核の疑ある人よ!!' (For those who suspect tuberculosis!!) featuring 'ホシアンチツベルケン' (Hoshianchi-tuberkulin). It includes a large star, bold text, and a list of distributors across various cities like Tokyo, Osaka, and Kyoto.

# 最近の通例に逆行し 營業用炭の發送減少

## 今後の推移を刮目さる

常盤炭山の發送は常に需用の減少に  
反し營業用は一部工業界の活気に恵まれ  
殆ど増産の一途を辿り差引若干の黒字を  
續けて来たが、此程俄然前記と正反對の  
現象を示し今後の推移如何を思はしめて  
居る、即ち去る一日以降十日迄の實績を  
見ると  
營業用三、七五五車四六、三八二、二  
省用一、四七四車一八、九七七、合計五、二  
二九六五、三五九七  
前年比し營業用  
(減差) 七一六車九、二四五  
と云ふ營業方面に會て無数字を示したので需用  
に於て八車を減じ反對に、二〇七車を増して居  
るが差引  
(合計減差) 七二四車八、〇三八  
と云ふ結果を來した、而して一日平均千噸近の減  
送は實に近來稀有事実であつて業界の前途に對  
して一抹の暗翳たるを失はない

## 平兒童旅行

六月一日日光へ  
平町三小學校の修學旅行は  
来る六月一、二の兩日日光  
方面に行ふことに内定した  
平局の新電話受付  
平局の今年度電話申請受付  
鮫川 二期起工  
廿日の臨時總會で決定  
昨九年度四萬二千圓の第一期  
工事了した鮫川水路改  
修第二期開工事に關して  
は来る二十日午前十時から  
平團體事務所樓上開かれ  
臨時總會に於て起債其他  
協議の上請負者も指名入札  
により決定されることが大體入  
選野村池地内十一萬五千餘  
圓に上るものと觀られて居  
り第一期約二倍半強の大  
工事だけに地方民を潤すも  
計の少くないと觀られて居る

## 共榮依存を題句に 快い勞資の握手

入山の四十年祝賀盛儀  
入山炭礦四十周年記念祝賀の  
式は既報の如く十五日山崎  
神樂の如く十五日山崎神樂  
神樂の如く十五日山崎神樂  
神樂の如く十五日山崎神樂

## 郡下へ十七萬餘圓

平町の一萬七千圓を首め  
義教費割當額決定  
十年度市町村義務教育費國  
庫負擔法第三條に依る交付  
金の本縣割當額は百二十  
九萬三千八百七十三圓に決  
定されたが、此は縣下三市三  
十町六十六村に對する交付  
額を十五日決定されたが、  
左記總額十七萬四千七百圓  
にして右交付金の割當方針  
は教員一人當り百六十四  
五錢兒童一人當り二圓六十  
四錢の割合である  
七三、四七四、渡邊一、  
泉三、植田四、六二八  
山田二、七八四、錦二、  
九四四、勿來七、〇六八  
上野野四、〇三三、入遠  
野三、五一九、川部三、  
二七三、全部組合田人、  
同荷路夫、同貝泊、石住  
一五四、一〇一、一行此、行

## 平町農會 役員決定

平町農會 役員決定  
役員決定 總代會は  
昨十五日開き本年度役員を  
左の如く改選  
會長 齋藤久太郎、副會長  
關内正一、評議員 齋藤國  
松、吉田寅之助、荒川澄  
次郎、猪俣彌作、原山山  
崎三郎、青沼謙太郎  
勿來町農會 十七日午後  
一時から役員會を開き會長  
以下役員の改選を行ふ

## 頗る民衆的 な好局長

榮轉の戸石清氏  
平から酒田局長に榮轉の戸  
石清氏は去る昭和六年五月  
着任以來民衆サーヴィスを  
モットーとして窓口通債取  
扱相談所、各ポスト閉鎖時  
間明示、待合室の洗面器特  
設など施設の改善に努め更  
に前保三萬圓突破を目安に  
自ら管内各町村を行程して  
極力募集に努めたが去るに  
及新入學生より合計千五百  
圓を徵募する等だったが、  
圓を徵募する等だったが、  
圓を徵募する等だったが、

## 春の美酒に酔はせて お祭りとお花の二重奏

豫想さるる明日の賑ひ  
花を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か

## 春雨に土砂崩れ

入遠野の縣道杜絶  
復舊所要一週間の見込  
昨日の雨の降るため十六日  
元青年團員三十餘名と共に  
六三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日

## 白水阿彌の第二回修理

本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て  
白水阿彌の第二回修理  
本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て

## 盲夫の冷酷に 糟糠の妻が訴訟提起

慰籍料二千餘圓を請求  
又兼新山町字廣町二〇大  
内實方マツサジ術業遠藤  
タノ(七)は平町武田、市井  
兩隣護士を代理人として同  
郡江崎町大字権現堂字新町  
一、按察業遠藤信(三)を相  
手として此程離別に恩料料  
二千二百五十圓の請求訴訟  
を平支部に提起した  
兩人は正八年九月頃山  
形縣五色温泉に滞在し中  
に夫婦關係を結び、タノ  
は盲夫に眞實に仕へ共謀  
して相當の蓄財も出來た  
が、同十七年良人の郷里  
に歸り、同十七年良人の郷  
里に歸り、同十七年良人の郷

## 上告を棄却

藤原の放火に判決  
警務村大字藤原字忠田農高  
木善吉(五)が昨年四月十五  
日夜會飲中酒を飲んだ後  
隣家の高木水三(三)方に  
放火した事件は同七月五日  
平支部で懲役二年六月を言  
渡され、第二審同十二月二  
日に決定した

## 通信命令

通信書記(平郵便)  
局長 戸石清  
通信書記(新郵便)  
局長 佐藤 守節  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

## 警女増級資金行悩む

尚は一馬力を掛けた上  
場合により他方法を考案  
警女校増級の資金は既報の  
提供する事に内定して居る  
が、その他の方面にも極力勸  
助を請ふ事になり更に不成就  
の虞がある、町村割の場合  
は別方法を講ずる管  
當二千八百圓  
及新入學生より合計千五百  
圓を徵募する等だったが、  
圓を徵募する等だったが、  
圓を徵募する等だったが、

## 春の美酒に酔はせて お祭りとお花の二重奏

豫想さるる明日の賑ひ  
花を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か

## 春雨に土砂崩れ

入遠野の縣道杜絶  
復舊所要一週間の見込  
昨日の雨の降るため十六日  
元青年團員三十餘名と共に  
六三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日

## 白水阿彌の第二回修理

本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て  
白水阿彌の第二回修理  
本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て

## 盲夫の冷酷に 糟糠の妻が訴訟提起

慰籍料二千餘圓を請求  
又兼新山町字廣町二〇大  
内實方マツサジ術業遠藤  
タノ(七)は平町武田、市井  
兩隣護士を代理人として同  
郡江崎町大字権現堂字新町  
一、按察業遠藤信(三)を相  
手として此程離別に恩料料  
二千二百五十圓の請求訴訟  
を平支部に提起した  
兩人は正八年九月頃山  
形縣五色温泉に滞在し中  
に夫婦關係を結び、タノ  
は盲夫に眞實に仕へ共謀  
して相當の蓄財も出來た  
が、同十七年良人の郷里  
に歸り、同十七年良人の郷  
里に歸り、同十七年良人の郷

## 通信命令

通信書記(平郵便)  
局長 戸石清  
通信書記(新郵便)  
局長 佐藤 守節  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

## 春の美酒に酔はせて お祭りとお花の二重奏

豫想さるる明日の賑ひ  
花を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か

## 春雨に土砂崩れ

入遠野の縣道杜絶  
復舊所要一週間の見込  
昨日の雨の降るため十六日  
元青年團員三十餘名と共に  
六三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日

## 白水阿彌の第二回修理

本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て  
白水阿彌の第二回修理  
本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て

## 盲夫の冷酷に 糟糠の妻が訴訟提起

慰籍料二千餘圓を請求  
又兼新山町字廣町二〇大  
内實方マツサジ術業遠藤  
タノ(七)は平町武田、市井  
兩隣護士を代理人として同  
郡江崎町大字権現堂字新町  
一、按察業遠藤信(三)を相  
手として此程離別に恩料料  
二千二百五十圓の請求訴訟  
を平支部に提起した  
兩人は正八年九月頃山  
形縣五色温泉に滞在し中  
に夫婦關係を結び、タノ  
は盲夫に眞實に仕へ共謀  
して相當の蓄財も出來た  
が、同十七年良人の郷里  
に歸り、同十七年良人の郷  
里に歸り、同十七年良人の郷

## 通信命令

通信書記(平郵便)  
局長 戸石清  
通信書記(新郵便)  
局長 佐藤 守節  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

## 春の美酒に酔はせて お祭りとお花の二重奏

豫想さるる明日の賑ひ  
花を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か  
る人を見頃には昨日の雨、浮か

## 春雨に土砂崩れ

入遠野の縣道杜絶  
復舊所要一週間の見込  
昨日の雨の降るため十六日  
元青年團員三十餘名と共に  
六三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日  
八三三、小名濱八、二五日

## 白水阿彌の第二回修理

本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て  
白水阿彌の第二回修理  
本堂宇の特別保護建築物並に  
墳墓五箇所を指定に就て

### 通信命令

通信書記(平郵便)  
局長 戸石清  
通信書記(新郵便)  
局長 佐藤 守節  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

### 酒田郵便局長を命ず

通信書記(新郵便)  
局長 佐藤 守節  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

### 平郵便局長を命ず

平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず  
平郵便局長を命ず

### 春の洋服。レインコートは 信用堂へ!!!

春の洋服。レインコートは  
信用堂へ!!!

### 特賣中

特賣中  
特賣中

### 入院隨意(自炊の便あり)

入院隨意(自炊の便あり)  
入院隨意(自炊の便あり)

### 外科 線科 門科

外科 線科 門科  
外科 線科 門科

### 上田醫院

上田醫院  
上田醫院

### 良品廉賣に勝る商略なし

良品廉賣に勝る商略なし  
良品廉賣に勝る商略なし

### 磐城セメント特約代理店

磐城セメント特約代理店  
磐城セメント特約代理店

### 釜屋商店

釜屋商店  
釜屋商店

### 確實敏捷は人の生命なり

確實敏捷は人の生命なり  
確實敏捷は人の生命なり

### 株買

株買  
株買

### 沼株式会社

沼株式会社  
沼株式会社